

## 第 21 回 全国高等専門学校デザインコンペティション 2024 in 阿南「繫」

### 創造デザイン部門 募集要項

[テーマ：未来につなげる 脱炭素な社会]

[課題概要]阿南大会では、2050年の未来と「繫」をテーマに、都市における脱炭素な社会づくりのアイデアを募集します。日本では豊かな暮らしの実現がしているが、気候変動など早急に対応しなければならない課題があります。このような課題を克服し、2050年においても豊かな暮らしが可能な社会づくりについて、低学年を含めた多くの学年および各学科・コースの特色を活かした多くの提案を期待しています。

\*\*\*\*\*審査委員長からのコメント\*\*\*\*\*  
我々は集まって住むために都市をつくり、集まって住むことができるような社会基盤や社会システムをつくりあげてきました。しかしそれは見方を変えれば、人間が人間のために自然を開発してきた歴史とみることもできます。その結果、現在の我々が直面しているのは、地球環境を巻き込んだより大きな問題です。将来を見据えると、これまでのように人間の側からだけ見た効率性重視、生産性重視の都市のつくりかた、ものつくりかたは終わりを迎つつあるように思います。これからは人間だけではなく、この地球上で時空間をシェアしている全ての生き物のことを考えた社会づくりが必要不可欠となってくるのではないのでしょうか。

今回の課題では未来につなげるための脱炭素な社会づくりの提案を募集します。

これは今後の我々の社会が直面する（もしくはもう既に直面している）問題であり避けられない問い掛けでもあるがゆえに目新しいものではありません。書店に行けばSDGsを謳った書籍は山のように積み上げられているし、ネットを探れば関連情報はたくさん出てきます。もしかしたらこのコメントを読んでいる皆さんのなかにも、学校で既に課題として直面した人たちがいるかもしれません。

だからこそ本課題においては、どこかで見たことがあるような提案や、万人受けするような平坦な提案ではなく、誰も見たことがないもの、誰も考え付かなかったこと、センスの良い問い掛けを評価したいと思っています。

細部は粗くても構わない。少々のデザインの不備も仕方がない。そのアイデアを見た時に、新鮮な驚きを与えてくれるようなもの、心をときめかせてくれるような切り口、そんな提案を見たい。

柔軟な発想力と想像力、そして君達の創造力に期待したいと思います。

\*\*\*\*\*

## 1. 提案条件

- ① 2050年カーボンニュートラルな脱炭素社会を目指し、以下の1)あるいは2)の視点から持続可能\*1な社会につながる提案をすること。
    - 1) 「創造性\*2のあるサービス(こと)」の「プロセスデザイン(どのようなストーリーで地域の人々を支援するか)」を提案すること。(「こと」興しの仕掛けのみに特化する「プロセスデザイン」も含まれます。)
    - 2) 「創造性のある製品(もの)」について提案すること。ただし「製品(もの)」がどのようにカーボンニュートラルを実現する脱炭素な社会に繋がるかについての「プロセスデザイン(ストーリー)」も併せて提案してください。
- \*1 持続可能とは、SDGs(持続可能な開発目標)などの国際的な取組みがあるので参考にするように。  
\*2 創造性とは多様な人々による様々な視点からアイデアを何度も再構築することにより生まれたもの。
- ② 社会あるいは都市や地域(人、企業・自治体・NPO・住民組織など)が抱えている課題を解決するための「こと」を興すプロセスならびに「もの」を提案すること。社会あるいは地域課題を捉えるには、“現場の情報に当たる”必要があるが、その方法としては、まず仮説を立て、その仮説を検証するフィールドワーク(観察)、インタビュー調査などが考えられる。できれば、当事者(課題を抱えている人)の声を直接聞き、そして共感(empathy)して問題の本質を探り当てるように心がけること。
  - ③ プロセスデザインは、人(当事者)のニーズから出発し、目標とする社会、地域を実現するためのプロセスを提案するものと考えてください。そのプロセスには、地域資源や既存技術・実現可能と思われる技術・知識をどう融合させるか、地域内外の人々がどうコミュニケーションするか、といった内容が含まれます。本課題では、こうしたプロセスに高専がいかに関わるか、その役割について可能な限り示すこと。

## 2. 評価指標

提案は、次の五つの視点(地域性、自立性、創造性、影響力、実現・持続可能性)から評価する。従って、以下の①～⑤の内容を含むように留意すること。

- ① 地域性(地域の事情を踏まえた施策であること)
 

客観的なデータにより各地域の事情や将来性を十分に踏まえた持続可能な提案であること。
- ② 自立性(自立を支援する施策であること)
 

地域・企業・個人の自立に資するもの、「ひと」「しごと」の移転・創造を含み、特に外部人材の活用も含め「ひと」「もの」づくりにつながる提案であること。
- ③ 創造性(多様な人々により熟考されていること)
 

創造性を意識した提案であること。創造性は、多様な人々によるさまざまな視点からアイデアを何度も再構築することにより生まれるといわれている。創生事業は、一つの分野だけで解決できるものではない。そこに関係する様々な人々を巻き込んで生まれた創造性のあるアイデアを提案すること。
- ④ 影響力(課題解決に対する影響力)
 

本テーマに応募する原動力となった課題に対して、提案したアイデアがいかにパワフルで影響力がありそうかを評価する。一過性のものでなく、深く・強いアイデアを期待する。
- ⑤ 実現・持続可能性(2050年までの実現可能性が1%でも見いだせればよい)
 

万人が納得できる論理的根拠に基づく提案であること。

### 3. 競技方法

創造デザイン部門は、予選と本選に分けて実施する。

#### (1) 予選

審査員はプレゼンテーションポスターA3 サイズ（横向き）1枚（画像データ）に基づき地域性、自立性、創造性、影響力ならびに実現・持続可能性の視点から審査を行い、その結果から本選に出場する10点以内の作品を選出する。なお予選時の審査得点は地域性、自立性、創造性、影響力ならびに実現・持続可能性について各10点、また重点的に評価してほしい2項目については得点を2倍とし合計70点満点にて採点を行う。審査結果は、デザコン 2024 in 阿南公式ホームページ（<https://デザコン.com>）に公開する。審査結果は、10月上旬に公開予定である。

※プレゼンテーションポスターは添付しているPPTファイルをダウンロードしてご利用ください。

#### (2) 本選

本選 1 日目は、予選結果連絡時のフィードバックコメントをもとにブラッシュアップしたパワーポイント資料を持ち込み、プレゼンテーション等を行う。そのうえでワークショップを行い、さらにパワーポイント資料をブラッシュアップする。本選 2 日目は、1 日目にブラッシュアップしたパワーポイント資料を使用したプレゼンテーションを行い、審査員の評価によって賞を決定する。

- ・ 1 日目： 応募チームごとのパワーポイントによるプレゼンテーション、各種ワークショップ、パワーポイント用プレゼンテーション資料用のブラッシュアップ
- ・ 2 日目： プレゼンテーション、審査員講評

詳細は、10月上旬にデザコン 2024 in 阿南公式ホームページに公開される本選出場要項にて改めて説明する。

### 4. 応募方法等

Web による手続きとする。Web による手続きを利用するためには、Google アカウントが必要となる。なお、創造デザイン部門では、提案資料の画像データファイルのアップロード（Web）による提出を求める。

#### (1) 質疑応答

募集要項の内容（課題内容、提案条件）に関する質疑応答は行わない。

#### (2) 予選エントリー時の提出物

##### ①予選エントリー時の提出物（創造デザイン部門\_エントリーシート）

- ・デザコン 2024 in 阿南公式ホームページ（<https://デザコン.com/>）の様式集から、「創造デザイン部門\_エントリーシート」をダウンロードし、必要事項を記入したうえで PDF（.pdf）形式のデータファイルに変換する。

※ダウンロードしたファイルの様式を変更しないでください。

（必ず A3 横 1 枚での提案としてください。）

※画像データのファイル形式は、PDF（.pdf）とすること。

- ・アップロード可能なファイルサイズの上限は 300MB であるが、ファイルサイズはできるだけ小さくすること。
- ・ファイル名は、[高専名・キャンパス名\_代表者学生氏名]（「高専」「キャンパス」の文字は除く。）とする。例) 阿南\_高専太郎.pdf または 香川\_高松\_高専太郎.pdf

### (3) 予選エントリー手続き

- ① 受付期間：2024年7月22日（月）～8月21日（水）17:00
- ② 応募方法：デザコン2024 in 阿南公式ホームページの創造デザイン部門の「エントリー」から行う（Google アカウント必要）。なお、予選エントリーフォームで入力する「提案概要」の内容は、審査に影響しない。
- ③ 受領確認：エントリー（作品）の受付確認に関しては、エントリーで入力された代表者および指導教員のメールアドレスへ内容受付のメールを自動配信する。メールアドレスについては入力ミスがないように十分確認すること。エントリー漏れがあった場合には、指導教員が下記メールアドレス宛に8月22日（木）までに連絡すること。

阿南工業高等専門学校 創造デザイン部門事務局 e-mail : dc-24sozo@anan-nct.ac.jp

### (4) 本選への参加

本選は、2024年11月2日（土）・3日（日）に実施する。本選の詳細 [本選出場要項等] に関しては、10月上旬にデザコン2024 in 阿南公式ホームページに公開するとともに、予選通過者の指導教員にメールにて直接通知する。

### (5) 参加費

- ・予選審査費は1作品につき2,000円とし、本選参加者は1名あたり1,800円とする。
- ・予選審査費は、2024年8月21日（水）までに以下の口座に振り込むこと。
- ・本選参加費は、2024年10月18日（金）までに以下の口座に振り込むこと。
- ・振り込み者名は、「部門名称（空白）高専名の略称（空白）担当者名」とすること。  
例) ソウゾウ アナン コウセンタロウ
- ・振り込まれた予選審査費および本選参加費について、いかなる場合においても返金には応じない。

#### 【振込口座】

銀行名：徳島大正銀行

店名：阿南支店

店番：002

預金種目：普通預金

口座番号：8584393

口座名義：アナンコウギョウコウトウセンモンガツコウガクセイガカリアズカリキン

## 5. 応募資格

- (1) 高等専門学校に在籍する本科生及び専攻科生とする。
- (2) チームは、2～3名で構成する。複数の高専との連合も可とする。
- (3) チームメンバーの所属する学科や専攻は問わない。
- (4) 同一人物が他部門も含め複数のチームに参加することは認めない。
- (5) 同一人物の予選へのエントリー制限について：

デザコン 2024 では、空間デザイン部門・創造デザイン部門・AM デザイン部門の 3 部門のうち 1 部門にしか応募することはできない。ただし、この 3 部門で予選通過できなかった場合には、構造デザイン部門への応募を可とする。

## 6. 審査員及び審査方法

委員長：吉村有司（東京大学 先端科学技術研究センター 特任准教授）

副委員長：中平徹也（特定非営利法人 環境カウンセラー協会 事務局長）

委員：正本英紀（愛媛大学 社会連携推進機構 地域専門人材育成・リカレント教育支援センター 副センター長／准教授）

委員：岡田未奈（特定非営利法人 issue+design ）

ワークショップ・ファシリテーター：坂本真理子（And you 代表）

審査方法は予選、本選とも審査得点をもとに審査員の協議によるものとする。

## 7. 表彰

- (1) 最優秀賞(文部科学大臣賞)1 点
- (2) 優秀賞 2 点
- (3) 審査員特別賞 2 点

## 8. 著作権等

提出作品の著作権はそれぞれの製作者に属するが、主催者はこれを書籍等の印刷物への掲載また Web 等で公開する権利を有し、これを妨げないものとする。オフィシャルブックには応募作品とともに参加者、指導教員の氏名が記載される。また、肖像権の取り扱いについては、参加者からの申し出がない場合、肖像権の使用に同意を得たものとする。なお、予選に提出された応募作品についても公開を予定している。

## 9. 付記

- (1) 応募作品には他のコンテスト、コンペティションに応募したものを使用してはならない。
- (2) 応募要項に違反した場合は失格となる場合がある。
- (3) 応募作品は返却しない。
- (4) 応募作品の取り扱いにおいて、主催者は最善の注意を払うが、天災等の不可抗力による損傷に関しては、責任を負いかねる。また、輸送時の損傷についても主催者は一切責任を持たない。
- (5) プレゼンテーション資料の作成にあたっては、全国高等専門学校デザインコンペティションの趣旨に則った適切な表現を用いること。